

毎日々々暑い日が続いていますが如何お過ごしでしょうか、熱中症等にはくれぐれもお気を付けください。

夜になれば涼しくなると思っていたら、これまた熱帯夜こんな時には夜更かしでもして星空を眺めてみませんか。

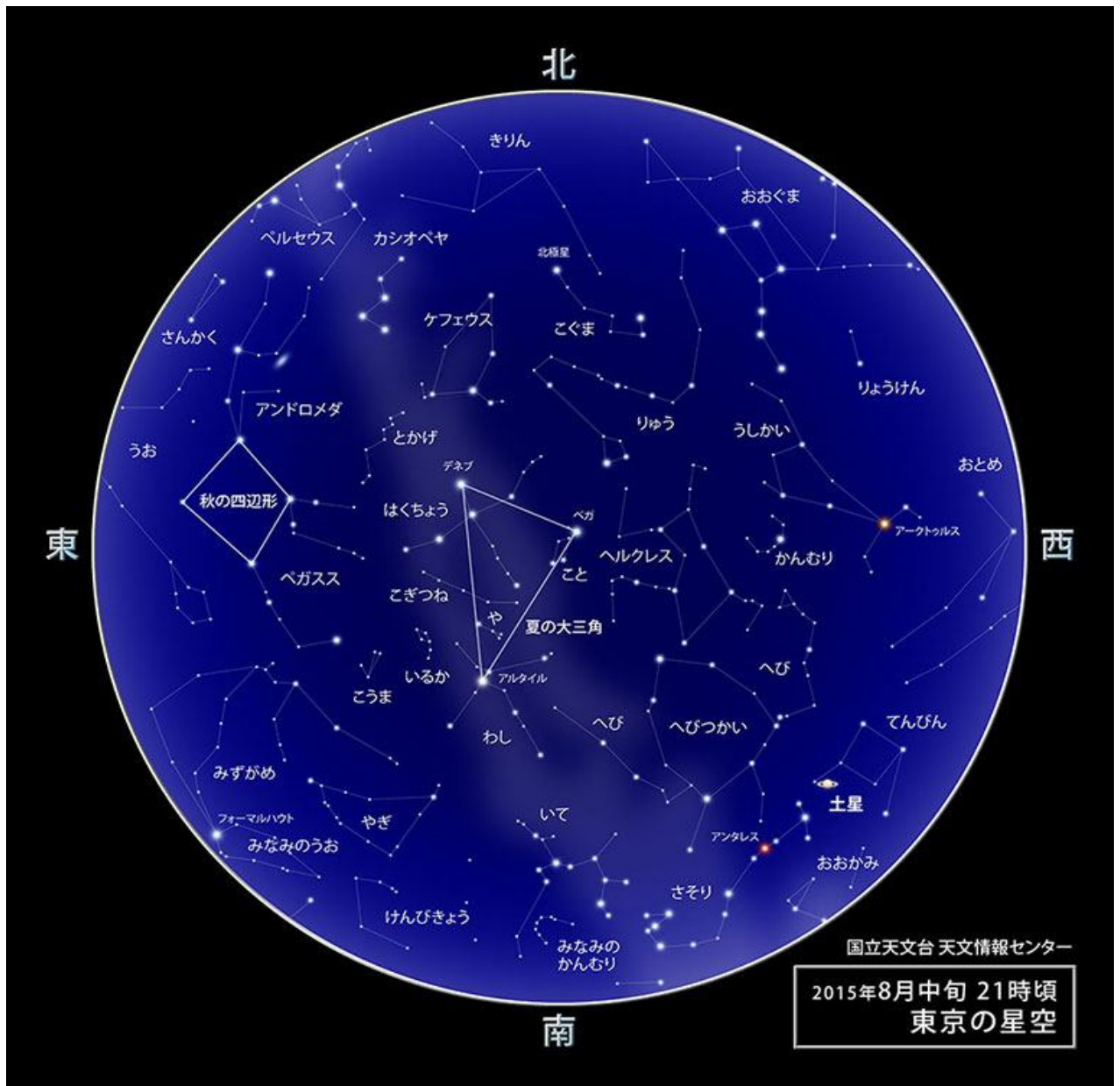
今月の星空は突出して目立つ現象は多くは有りませが、子供さん達が夏休みに入っているのも親子で観望を楽しんでみてはどうでしょう。

8月の14日が新月で月の明かりが気にならなくなる星空、この頃は一晩中星の観測に適していますので天の川等普段明るさが気になる所では観られなくなっているものを探して見てください、20日過ぎ頃には夕方細い月が観られる上弦の月、夕方、西の方角に夕焼け空と地平線に見える山々と共に美しいシルエットをかもし出してくれます、30日には見事な満月を一晩中見せてくれます。

今月観望に適した惑星は土星くらいのもので、他の惑星は暗すぎるのと、太陽に見掛け上近付きすぎて非常に見えづらいでしょう。

土星は日の入り後南西の空、てんびん座に見えています、明るさは0.4等級から0.5等級の間で輝いています、是非小型の望遠鏡でも良いので覗いてみてください、本体の周りにきつとリングが見える事でしょう。

この頃はやはり近所の科学館等で観望会などが開かれる事が多いので利用してみても良いでしょう。



8月12日深夜から14日深夜にかけて活発になるペルセウス流星群が条件良く観察出来ます、14日が新月の為月明かりが無く暗い流れ星まで見える事でしょう、条件の良い所では一時間に30個程の流星を見る事ができそうです。又国立天文台でも観察キャンペーンをするそうなので、ネットからでも見る事が出来そうです。



夏の夜、流れ星を数えよう 2015

ペルセウス座流星群を観望するコツは → 流星の観察方法 → 観望のしずく



ペルセウス座流星群を眺めて、 みんなで報告しよう

2015年8月13日正午より報告をお受けします

ペルセウス座流星群の観望は、2014年8月13日（金）～14日（土）の2日間、観望が最も盛況となる見込みです。

ペルセウス座流星群について

8月の流星群は毎年数回のブレイク。このころ、ペルセウス座流星群が最も多くの流星を観望できるからである。

観望のタイミングは、ペルセウス座流星群が最も盛況となる時期に合わせて「夏の夜、流れ星を数えよう2015」イベントを開催いたします。ペルセウス座流星群の活動が特に活発になる、8月13日の夜から15日の朝までの観望が最も盛況を期待して、観望がはじまる13日正午からイベントを開催いたします。

2015年ペルセウス座流星群の観望は、[ペルセウス座流星群の観望方法](#)をご覧ください。

[ペルセウス座流星群を観望するコツ](#) [流星の観察方法](#)

現在使われている暦では伝統的な七夕の日は毎年変わります。今年の伝統的七夕は8月20日になります。

織姫星（こと座のベガ）と彦星（わし座のアルタイル）が天の川のはさんで両岸に居ますが年に一度この日が晴れたら会えるという言い伝えですね。

（新暦の七夕は7月ですがこの頃はまだ梅雨の真っ最中ほとんど毎年雨や曇りで会えないみたいです。）

20日前後、日の入り後の南西の空に土星が見えていますがこれに三日月とさそり座のアンタレス星がコラボして見えます、22日頃が一番接近するので見事な景色を楽しんでください。

月と土星が接近

2015年8月下旬 20時頃 東京の星空

